

ウェーサクの日へのメッセージ

国連事務総長



ウェーサクの日を迎えるにあたり、まずは国連総会開催の促進国であったネパールの大震災による被災者の方々に心よりお悔やみ申し上げます。今もなお瓦礫や破壊された建築物の中でこの祝日を迎えているネパールの人々が、この祝日に集う人間の連帯感から何らかの安楽を得ることができることを願っています。

ウェーサクの日の精神は、現代に混在する諸問題への世界的な対応を促進する手助けとなります。今年、国連は新たな持続可能な開発目標と気候変動に関する重要な協定の適用に向け活動しています。それ故、生命と環境は本質的に一つであるという仏教の教えを心に深く留めています。

すべての人々は繋がっているというお釈迦様の観察は、私たちに共通価値を基盤として問題解決に取り組む一つの家族であるという団結力の重要性を思い出させてくれます。

私はすべての宗教コミュニティや指導者に、今日の危険で不安定極まりない過激主義の高まりに対応するためにも、国連に賛同してもらえるようお願いをしています。このような事態の終結に向けて、最近では寛容と和解に関する二日間の国連会議に世界宗教の著名人を招待しました。

仏教の教えの中核には差異の超越というものがあり、これが慈悲の実践を普遍的なものにしています。

現代社会における多くの災害被災者に手を差し伸べることの誓いと共に、ウェーサクの日をお祝いしましょう。そしてその過程の中でより良い未来を創造して行きましょう。

ウェーサクの日へのメッセージ

ユネスコ事務局長



私はこの国連ウェーサク日式典にて、世界の平和をより強化するため、尊敬と平等な尊厳に基づくブッダの教えと智慧の重要性を強調したいと思います。

ブッダはかつてこう言いました。

「心がすべてである。それはあなた自身なのだ」このことは 70 年前に書かれたユネスコ憲章の中にも繰り返されています。

「戦争は人間の心の中で始まったものなのだから、平和の構築も人間の心から始まるはずである。」

国連ミレニアム開発目標の期限を迎え、さらなる新しい持続的開発課題を構想する重要な年において、このメッセージは特に大切なものとなります。それは、すべての社会が変化し、衝突が絶えず、地球が圧迫に直面する時、激動の時代を迎えているからです。

これらの挑戦に取り組むためには、まず人権と尊厳が最初の一步となり、対話こそが私たちの答えとなるでしょう。新しい開発課題を推し進めることによって、人間一人ひとりの平和に対する価値が高められ、他者や世界との調和が可能となり、思いやりに満ちた新たな関係を築くことができるでしょう。これは、非暴力的で平和に基づく開放的で明るい社会を発展させるための目覚めと変革の道なのです。